

2010年8月10日

# 安房普及だより

〒294-0045 千葉県館山市北条402-1 TEL:0470-22-8132 FAX:0470-22-0097  
 ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/apcenter/awa/>  
 発行：安房農林振興センター地域振興部改良普及課・安房農林業振興協議会普及事業部会



ほ場巡回で生育を確認



「鴨川七里®」枝豆のパッケージ

## 「鴨川七里®」で地域を活性化

鴨川地域では、古くから大切に受け継がれてきた在来の大豆を活用して地域の活性化を目指しています。この地域では、味噌作り等で利用するために大豆を田の畦畔にまく風習があり、これによって独自の在来品種が数多く存在していました。JA安房や農林振興センターでは、これらの大豆から市場出荷に有利な極晩生で味の良いものを選抜し、枝豆（大豆の若採り）として生産しようと考え、平成19年から活動してきました。

### ①「鴨川七里®」の選抜

地域の農業者に加え、県の試験研究機関である農林総合研究センターの流通経営研究室、畑作物育種研究室、植物工学研究室と協力して大豆の選抜を行いました。その結果、10月中旬以降に収穫できる良食味の「鴨川七里®」を選抜しました。

### ②生産者組織の結成

栽培希望者17名に対し、方向性を持って活動するよう促し、「鴨川七里を育てる会」(事務局：JA安房鴨川支店)の発足を支援しました。そして、商標「鴨川七里®」を取得し、会員だけがその名前を使えるようにしました。

### ③オーナー制の実施

鴨川市や鴨川市商工会と連携して、今年度より枝豆のオーナー制を開始しました。募集した200区画は全て埋まり、現在順調に生育しています。

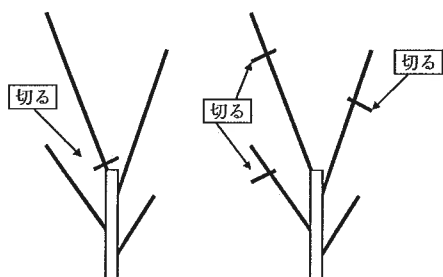
### ④今後の取り組み

他産業を交えた地域ぐるみで活動できるよう、大豆の加工品開発等も予定しています。この活動が地域おこしのひとつになるよう、これからも支援していきます。

※®は登録済商標を意味しています。

(金森啓介)

落葉果樹のせん定  
〜カキ編〜



左：①間引きせん定 右：②切り返しせん定

図1：せん定方法2種類

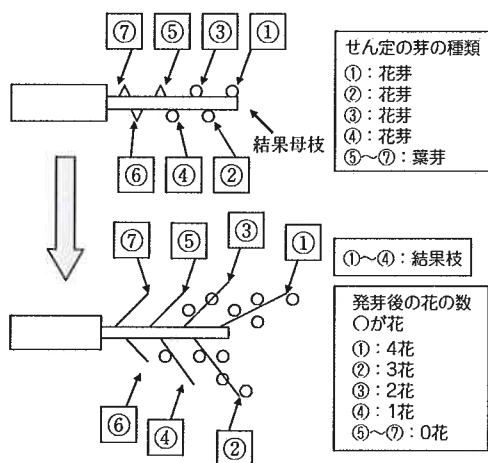


図2：カキの結果習性

落葉果樹のせん定は落葉してから、花が咲く前までに実施します。ウメでは11月頃、他の落葉果樹は1〜3月頃が適期です。せん定は主に樹全体に日光が当るようにして、枝を樹全体から発生させ樹勢を保つためと、作業をしやすくするためにあります。

せん定の仕方には主に①間引きせん定と、②切り返しせん定の2種類があります。間引きせん定は必要な枝を基部から切り取る方法で、切り返しせん定は枝の途中で切る方法です。(図1)

せん定の2種類があります。間引きせん定は必要な枝を基部から切り取る方法で、切り返しせん定は枝の途中で切る方法です。(図1)

今回はカキの成木のせん定について説明します。カキは、花芽のついてる枝から芽が出て、伸びた枝に花が咲きま

カキのせん定方法

す。落葉後に見える花芽に、直接花が咲くことはありません。花芽の着いている枝を結果母枝といい、花の咲く枝を結果枝といいます。(図2)

花芽は葉芽に比べて丸く、結果母枝の中ほどから先端に着いています。結果母枝の中ほどから基のほうについている葉芽は今年花を着けませんが、来年結果母枝になる可能性があります。

このような結果習性をカキは持つため、せん定で花芽のついてる部分を切り返しせん定してしまうとその年は全く花が着きません。実をとりたいた場合は、間引きせん定を行います。間引きせん定は、枝が混みあっている部分や古い枝、強い枝を枝の基から切り取ります。

切り返しせん定は、枝を伸ばして樹を大きく広げたり、樹形を整えたり、来年のための結果母枝を育てるときに行います。

ただし、樹高を低くするなど、樹の形を整えようと、大きな枝を一度にたくさん切ると、樹体を育てるほうに養分が使われ、花を着けにくくなってしまいます。樹の形を大きく変えるときは2〜3年かけて徐々にせん定しましょう。

間引きせん定と切り返しせん定をバランスよく組み合わせると、カキによく見られる隔年結果を減らすことができます。

また、カキは樹の日当たりが悪いところに芽が着かなくなり、枝が出なくなります。樹の内部が暗いと、花は樹の外側の日当たりの良い部分にしか着かなくなり、幹の近くに花が着かなくなってしまう。枝が混みあって風通しが悪くなると、病害虫の発生が増えてしまいますので、日光が樹の内部にまで入るよう注意してせん定しましょう。

(高橋京子)

### 総合力で克服！食用ナバナの根こぶ病

ネコブカビが引き起こす食用ナバナの「根こぶ病」対策をご紹介します。

◎農薬・抵抗性品種は絶対ではない！

土壤中の原因菌密度が高いと、農薬を使用し、抵抗性品種を栽培していても根こぶ病が発病する場合があります。

農薬や抵抗性品種を過信せず、ほ場の菌密度を抑える管理が重要です。

◎総合力で防除しましょう

菌密度を抑えるために、以下の対策を組み合わせる総合的な防除をしましょう。

①酸性土壌の改良

pH 6以下の酸性土壌で発病が多く、pH 7.2以上では発病が著しく抑えられます。

苦土石灰の場合は10 aあたり100 kgを目安に施用し、土壌pHを改善します。

②ほ場の排水改善

感染は水を介して広がります。排水不良のほ場では、20〜30 cm程度の高畝で栽培するなど排水対策を行います。

③根こぶをほ場に残さない

根こぶの中には大量の原因菌が入っています。発病株は根ごと引き抜き、焼却等を行う処分してください。

④作期の変更

根こぶ病は地温が18℃〜25℃で発病が多くなります。地温が低くなる10月中旬以降には種すると、発病のリスクが抑えられます。また、清潔な培養土で育苗してから定植するのも有効です。

⑤おとり植物の利用

前作に葉ダイコン、エンバクなどのおとり植物を栽培すると、菌密度が減少します。各対策の詳細は振興センターにお問合せください。

(入倉敏広)

### 放牧による有害獣対策

①目的  
館山市では、イノシシの被害地域の拡大を防止するため、遊休農地に牛を放牧する取組みが試験的に行われています。

②概要  
試験が行われているのは、館山市の小原集落です。ここは旧富浦町に接する中山間地域で、イノシシが生息地を移動する「渡り」と言う行動が頻繁に確認されているところ。この「渡り」を放牧により抑制することを実証し、被害区域の拡大防止に役立てようとすることが試験の狙いです。

試験は、地元集落と市・振興センターが連携、嶺岡乳牛研究所が中心となつて5月から始まりました。約30 aの遊休農地に雌の和牛2頭を放牧。逃亡防止用の電気柵、給水用の水槽、行動観察用のカメラ等を設置、野草が食い尽くさ

れるまでの22日間に亘り、イノシシの行動を観察しました。

③今後の試験結果に期待

放牧の終了後に、撮影された写真や足跡など痕跡調査を基にイノシシの行動を確認したところ、放牧地への侵入は6月上旬の調査では確認されませんでした。放牧を警戒した可能性が高く、イノシシの「渡り」に少なからず影響を与えたものと考えられました。また、イノシシは遊休農地を一時的な棲家や餌場にする場合が多く、身を隠す茂み無くすことも被害の防止に役立つと考えられました。

試験は11月まで、野草が繁茂する毎に行われ効果を確認する予定です。(柴寄正博)



遊休農地への放牧の様子

安房地域の  
若手農業者を紹介③

今回は、鴨川市貝渚で主に露地野菜経営を行っている鈴木健一さん(33)をご紹介します。

鈴木さんは現在就農8年目で、父親とともにキャベツやブロッコリーなどの露地野菜を25品目以上栽培して直売所等へ出荷しているほか、1面で取り上げた「鴨川七里®」の栽培にも取り組んでいます。

父親との関係については、「口うるさいけど、いいパートナー。今では経理も任せられるようになった。」と鈴木さん。最近はにんにくに力を入れており、父親譲りの情熱で日々の農作業に当たっています。

前号の鈴木章嗣さんと同様、農業経営体育成セミナーで知り合ったメンバーと結成した「南房総ベジタブル」の活動

に参加しており、同じ地域の仲間たちとの交流にも積極的に取り組んでいます。現在はイベントでの共同販売や、インターネットを通して知り合った地域外の農業仲間との交流などを行っています。仲間たちと一緒に、助け合いながら活動していくことが第一。そして、こうしたネットワークをどんどん広げていきたい。」との抱負も語ってくれました。

(金森啓介)



鈴木健一さん



<http://blogs.yahoo.co.jp/minnaminavegi>

お知らせ

水稲新品種

「ふさのもち」がデビュー

「ふさのもち」は県が育成した大粒で食味にも優れたもち新品種で、短稈で耐倒伏性が強く、傷害や病害にも強い栽培しやすい品種です。平成22年8月に、23年まき種子の注文が始まります。栽培を検討してみたいかがでしょうか。

牧草地に繁茂する有害毒草「ナルトサワギク」に注意

県内でアルカロイド類を含む有害雑草の「ナルトサワギク」が発見されました。飼料畑や放牧地で見つけた際は、間違っても給与せず、種子を飛散させないよう配慮の上、すぐに抜き取り、焼却処分してください。



写真ナルトサワギク：環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室提供

ニーズに定める日本水仙の産地を目指して

お正月の花である日本水仙を有利に販売するためには、以下の取り組みが重要です。  
①年末の需要期に市場の注文数量に対応できる産地になる。  
②規格を統一して選別を安定する。  
③出荷情報を市場に送り、セリ前取引を中心に販売する。振興センターでは共選化に向けて取り組んでいます。

平成23年千葉県農業大学校 学生募集(推薦入試)

推薦入試の願書受付は9月21日～10月8日の期間。試験日は10月27日です。農業大学校所在地、東金市家之子 1059  
☎0475(52)5121  
※問い合わせは直接大学校までお願いします。